



☆ 子どものための福祉体験講座 ☆

～幼稚園児も参加して勉強したよ～

今日は大分盲導犬協会会長の湯沢純一さんと奥さん、盲導犬のテラの3人においでいただき「盲導犬の果たす役割と実際の動き」をお聞きしたり、見させていただきました。

盲導犬になれるのは10頭のうち3頭です。国家試験のような判定試験に合格しなければ「盲導犬」にはなれません。そして、盲導犬の優秀な父と母の子でなければその資格もないとのこと。一生に4人の目の不自由な方に仕えます。この厳しい資格は「人間の生命の安全を誘導しなければならない」からです。資格ができた盲導犬は、ユーザーと1ヶ月共同生活をしてから、8年から9年間仕えるそうです。犬の年齢(レトリバー)は、1歳が人間の15歳で、2年からは1歳毎に5年と計算します。盲導犬の10歳は人間で60歳となり、安全に誘導できなくなるので引退することになります。背中ハーネスをとって老犬として、「老犬ボランティア」の方に引き取られてその後楽しい人生を送っていきますので死ぬまで、5人の方に引き受けられことになります。

★一般の人にしてほしくないことは。

- ①遠くから大きな声をかけられたり、手招きをする。
- ②交差点などで待っているとき覗き込まれる。
- ③勝手に触る。
- ④えさを勝手にあげる。

このことは、気が散ってユーザーの生命の安全の保障がなくなるからです。

☆してほしいことは。

①一度行ったところなどは覚えているが、間違えて迷うこともあるので、止まっていたり迷っているような時は、やさしく「何かお手伝いすることはありますか」と声をかけてくれるといいです。

また、盲導犬は大変お金がかかります。盲導犬になれるまで約200万円の費用がかかり、大分県盲導犬協会では、寄付金などで対応しているので、街中で募金や自動販売機などの寄付をみかけたら協力してください。

■目の不自由な人の歩く方法は3つです。

- ①白杖(はくじょう)で探って歩く。
- ②誰かにつかまって誘導してもらう。
- ③盲導犬と歩く

今回は湯沢さんの話を聞いた後に、福祉法人の方の支援で、上記の2つを実際に体験しました。



『福祉体験の実際の体験コーナー』

3時間目は、実際に点字ブロックをアイマスクで歩行すること。体育館の横の階段を介助で歩くこと。ユニバーサルデザインのシャンプーなどを実際に手にとってみるなどをしました。



感想発表は、白杖より盲導犬の方が楽だと思えました。犬が怖くなくなりました。盲導犬のテラはすごいと思えました。触れてよかったです。盲導犬はおりこうだと思えました。盲導犬は英語で言われてわかるのでえらいなと思えました。

☆ 登校風景:さす船を作ったよ !! ☆

今日は6年生のあいさつ運動であいにくの雨で大変でした。登校は多くの保護者が車で送っていたので児童は安全に登校できました。



◇読み聞かせ会8:20~8:35

今日は地域のボランティアで、西さん、荷宮さん、阿部さんの3名に支援していただきました。

PTAの方や地域の方々に御礼申し上げます。

◇とどろきの里まつり開催「日曜日開催予定」

日曜日にとどろきの里で「どろよこい祭り」が開催されます。豚汁、おにぎり、カキ氷や大カブト虫の抽選もあるのでぜひ行ってみてください。楽しそうです。

☆時 間: 11:00 ~ 14:00 (雨天決行)

■登下校は、寄り道せずにお家に帰りましょう。